

会 議 録

会議の名称	委託業務総合評価一般競争入札評価員会議（令和元年度（2019年度）第4回）
開催日時	令和元年（2019年）11月11日（月） 10時00分～12時00分
開催場所	枚方市役所 別館4階 第3委員会室
出席者	委員長：吉村評価員 評価員：浜口評価員、森田評価員、森評価員 事務局：（契約課）山下課長、的場課長代理、服部係長、大杉係員（水道）岡本次長兼室長、米倉上下水道経営室課長、小篠課長代理、本田課長代理、（市民室）山内市民室課長、松田課長代理、山口係員
欠席者	三成評価員
案 件 名	案件1. 「水道検針業務、窓口・収納業務等委託」に係る委託業務総合評価一般競争入札の落札候補者の決定について 案件2. 「枚方市パスポートセンター旅券申請受付・交付等業務委託」に係る委託業務総合評価一般競争入札の落札候補者の決定について 案件3. その他
提出された資料等の名称	・会議の次第書 ・案件1 執行調書、入札参加者評価点一覧、評価基準採点表 ・案件2 執行調書、入札参加者評価点一覧、評価基準採点表、低入札価格調査関係資料
決 定 事 項	審議案件について、意見聴取が行われた。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第6条第7号に規定する非公開情報が含まれる事項について審議・調査を行うため。
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
所管部署（事務局）	財務部契約課
審 議 内 容	
<p><主な意見・質疑></p> <p>案件1. 「水道検針業務、窓口・収納業務等委託」に係る委託業務総合評価一般競争入札の落札候補者の決定について</p> <p>《技術的・社会的評価について》</p> <p>評価員：技術（3）①イについて、盗難や災害に備える耐火金庫の導入とあるが、現在の金庫はどういったものか。</p> <p>事務局：市が準備している金庫はない。</p>	

評価員：耐火金庫とはどういったものか。

事務局：設置型の金庫で個人が簡単には持ち出せないものを予定している。

評価員：技術（２）④イについて、自主納付の推進とあるが、口座振替を勧めるといったものなのか。

事務局：兵庫県尼崎市の事例を提示していただいているもので、単なる訪問集金ではなく、滞納者との対話の上納付を推進する方向付けをしている。口座振替も含めて、支払い方法の説明をしっかりと行うこととしている。

評価員：A社は現行業者ということだが、技術（２）⑥ウが０点なのはなぜか。

事務局：本来は水道メーター業務提案の箇所に記載されているべきことが、窓口業務の業務提案箇所に記載されていたため、水道メーター部分としては記載なしということで評価はできなかった。

評価員：社会（１）⑤について、市の求めたものと事業所の出した書類に齟齬があったということか。

事務局：書類は出ていたが、求めていた内容が読み取れなかった。

評価員：社会（４）①イについて、ポスターにはどう書いてあったのか。

事務局：ポスターには育児休暇のことは記されていたが、介護休暇の記載はなかった。

評価員：市役所の介護休暇と企業の介護休暇は違う。審査時に違いはわかって評価していたのか。

事務局：正しく評価している。

評価員：今回も前回も入札は１者だけであったが、業界状況について、中々新規業者がない現状がある。広域化の推進として共同受注なども事例があるので、今後はこういったことも検討していただければと思う。

事務局：発注時に十分な広報活動も行ったが実らなかった。今後も検討していく。

評価員；入札が少ないことの検証・分析はしているのか。他市の状況はどうか。

事務局：他市の状況として、同規模自治体でも１者になっているケースはある。他市の事例も参考に、委託期間を３年から５年にして入札しやすい方向にしたが、１者であった。

評価員：A社にとってみたら、他市よりハードルが高い評価制度に挑んで応札できていることは大きなアドバンテージとなっていると考える。民間市場の有効求人倍率や労働法の改正状況も視野に入れて検討することも大事と考える。また、A社は社会的価値評価が満点の５７．５％の成績となっている。労働市場が逼迫していることも読み取れるので、落札決定後に労働環境のモニタリングも実施するようにしてはどうか。

事務局：業務改善できるところは取り組んでいく。

案件 2. 「枚方市パスポートセンター旅券申請受付・交付等業務委託」に係る委託業務総合評価
一般競争入札の落札候補者の決定について

《技術的・社会的評価について》

評価員：社会（4）④イについて、管理職の定義は事業所に伝わっているのか。

事務局：特に説明等を行っていない。提出を求めている管理職名簿の様式による。

評価員：女性活躍推進法を踏まえ、今後は範囲を明示した方がよいと考える。

事務局：現状は各業者で根拠を示したうえでの管理職であれば認めている。今後検討する課題とする。

評価員：管理者と管理職の違いなども注意が必要。

評価員：社会（3）①について、ボトルキャップを集めて出すのはボランティアといえるのか。

事務局：社会貢献活動に充てられているので評価対象とした。

評価員：その考えでは募金も対象となる。ボランティア活動の定義はどう考えるか。

事務局：定義付けが難しい。市民活動課への確認も取ったが、同課からも定義付けは難しいという回答があった。現在は社会貢献活動も広く評価することとしている。

委員長：企業によって記載するかしないかで点数が変わってくる。配点割合も高いので、定義を明らかにすることは今後の検討課題と考える。

《低入札価格調査について》

委員長：今回は85%の調査価格設定としているが、どうやって決めているのか。

事務局：低入札価格実施要綱によって決めている。通常は60%だが、市長が定めるところでは90%まで可能。人件費の比率が高く、最低賃金価格を考慮した為に85%になった。

評価員：内訳書について、令和2年度と3年度の人件費上昇率について、業務従事者は1.7%ほどしか上がっていないが、問題はないのか。

事務局：上昇率が高い業務責任者と副業務責任者の賃金上昇について、最低賃金の上昇を見越していることや働き方改革による有給の取り扱いなど、会社の給与体系の変更によるものであることを確認している。

評価員：事業所が求人募集するにあたり、入札時に提示していたことと、採用後の勤務条件が違うことがある。確認はしているのか。

事務局：労務者賃金支払い状況報告を確認している。

評価員：事業者の入札価格説明について、事業者からのデータをそのまま書いているとは思いますが、「枚方市」や「貴市」と表現が統一されていない。

事務局：修正する。

《閉会》

以上